

能楽堂コラボ「音華の祈り」

2020年11月3日 梅若能楽学院会館

お客様からの反響集

たくさんのメッセージありがとうございました。

1.素敵な舞台でした。何故だか涙が出たくらいです。プロデュースする側の辛さ、私その立場になった事無いですが、大変さや受け入れてもらえた時の嬉しさはサイコーですよね。ご苦労様でした。

女性

2.本日は公演を楽しむことができました。マリアセレンさんの歌声には心から感動いたしました。また公演後のお疲れのところを、母との写真撮影にも快よく応じてくださり、母の本当に嬉しそうな顔を見ることができました。私たち母娘にとってマリアさんの歌声と共に今後何度でも思い出すであろう美しい秋の日になりました。寒さに向かう折柄、皆様お体に気をつけてお過ごしください。次回の公演も楽しみにしております。

女性

3.「音華の祈り」大変感動いたしました。素晴らしい席をご用意していただき本当にありがとうございました。やはり生の歌声に優るものはございません。マリアセレンさん&モンドパラレロ歌劇団の皆様の歌声に包まれて幸せな時間を過ごさせていただきました。能楽との共演はとても新鮮でした。能楽の舞台でラテン語を聴けるなんて…衝撃的。コロナ禍で大変だとは思いますが、益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

女性

4.この団体は海外進出を見据えているのねとお言葉をいただきました。また、能や能舞台を観たことが無い私と同世代の友人たちからも、能って面白いかも！綺麗だった！や知ってる曲いっぱいあって嬉しかった。

女性

5.京都から来た甲斐があったでホンマ。これめちゃくちゃおもろいやん。次回はメディアを呼んで宣伝したらよろし。

60代 男性 医者

6.素晴らしいの一言に尽きます。はじめはどんなのものなのか想像がつかず疑心暗鬼でしたがオペラと能の相性が良くてビックリでした。再演してください。

京都在住 女性 50代

7.たまたまなのですが、右隣の男性が非常に太っている方で、自分の席から左右の席に身体があふれ出ていたのです。それでも何とか自分の席に身体をねじ込んで座ったものの、そのまま身動きがとれず、体幹を捻じ曲げた形で最後までいたたために足腰が攣ってしまいまして、正直、苦行の1時間半でした。千駄ヶ谷などと比べると席や空間が小さく狭かった？ただ体感的なことはそれとして、公演内容は面白いものでした。あれだけの管弦楽人数であのボリュームと厚みがある演奏が聴けたことにおどろきましたし、すべての出演者に糸一筋の狂

いも無い調和があったことも驚きでした。面を付けた視野の狭い状態で能と違った動きをし、あの構成を盛り上げたことも含めて、どの方も並半端な練習ではなかったことでしょう。構成にも工夫がされていまし、めりはりもあって、飽きることは無かったけれど、全体を通して何を訴えたかったのかの軸が見えにくかったように感じられました。でも能楽堂という空間であのパフォーマンスはとても斬新だったと思いますし、興味深く拝見しました。ありがとうございました。

60代 男性

8.素晴らしい公演でした。演出が格段に良かったように思います。皆様の情熱がひしひしと客席に伝わって参りました。お疲れさまでした!!

合唱指揮 男性

9.大盛況でしたね！ご成功おめでとうございます。色々と胃の痛くなる日々が続いたこととしますので、安堵から疲れなど出されませんように。これまでもお能の要素を取り入れられていましたが、今回はコラボが明確で、能楽堂での開催というのがとても良かったと思います。西洋のオペラがバレエを取り入れて劇場でやられるように、オペラはお能を取り入れて能楽堂でという感じでしょうか？その可能性を感じた公演でした。マリアセレンと劇団の皆さんもよくお稽古されましたね。素晴らしかったです。素人に無理のない所作で美しく振り付けられた先生も素晴らしいと思います。先生のシレーナを拝見し、新作能になればいいのになどと空想も広がりました。本当にお疲れさまでした。

50代 女性

10.能楽堂初体験でしたが、素晴らしい内容で感銘しました。ありがとうございました。

男性 60代

11.ここまで徹底してやった方が海外で受けると思いました。今までの公演の中で一番好きな公演です。

50代 女性

12.素敵な舞台、幸せ気分で心がけ癒されました♪次回の舞台楽しみにしています♪

女性

13.素晴らしい公演をありがとうございました。能楽堂ということで、照明などの演出のない中、さすがマリアセレン、歌声と醸し出す存在感で歌に引き込まれて行って、能の世界観と同じものを感じました。おっしゃる通り、マリアセレンの新たな魅力にまた大きな可能性を感じますね。今回のご依頼のタイミングは、私自身が、太陽のような存在だった友人の逝去に、太陽を失った人たちの悲しみに寄り添う中ということで、何か大きな力で書かせていただいたのだなと思っています。

書家 女性

14.皆様、今日は青空を見ながらボーッとされているのではないのでしょうか。おつかれさまでした。大変素晴らしい時間を過ごすことができました。運営側の皆様、歌手、演者の皆様の並々ならぬエネルギーをひしひしと感じました。一言で言えば「ライブって素晴らしい！」でした。私自身、能楽堂での観劇は2回めでしたし、マリアセレンさんやモンドバラレロの皆様のことも偶然知って初めての経験でしたので何もかもが新鮮という

こともありましたが、能楽堂でだと近くで拝見できますから、皆様の細かい表情も見て取れてすっかり取り込まれてしまいました。能とのコラボということで、動きを抑え、表情を抑えている中でも緊張の面持ち、「私の歌を聞いて!」という迸り出るものが溢れた素晴らしい公演でした。何度も感動してジワッとしてました。セレンさんが蜘蛛の巣を投げる前に、袂から取り出せず必死で手繰っていたように見えたのは私だけですか? 手繰りながらも素晴らしい歌声で歌っておられたのはプロを感じさせましたが、勝手に状況を想像してドキドキしたのもライブの醍醐味です。セレンさん、とても繊細な方でないかとお察しいたします。お疲れをためずに次のステップに動き出していかれますよう、祈念いたします。どこかでセレンさんとお話されるのも聞きたいです。能を舞われた栗谷先生はさすがでしたね。ピリッと締まり、幻影的な能の一端を拝見いたしました。今までは歌舞伎の観劇をしていた私ですが、能も観てみようと思います。出演された方たちはホッとしている今日も、こうしていろいろご配慮されていてお大変かと存じますが皆さんの笑顔のためにがんばってください。次の何かの機会にまた伺えればと存じます。ありがとうございました。

女性

15.全く新しいジャンルのエンターテインメントが誕生する瞬間を観ました。感動と驚きの舞台でした。和と洋のそれぞれの文化的背景をしっかりと持ちながら、融合し、調和し、統合された体験したことの無い空間にいる感覚でした。もちろん、それを可能にしたのは、マリアセレンさんや、栗谷先生をはじめ、舞台に関係された、全ての方の異文化に対する真摯な向き合い方と、卓越したパフォーマンスによるものと思います。コロナ禍が終息し、多くの方に観ていただける日が一日でも早く、来ることを、お祈りしております。

60代 男性

16.素晴らしい舞台を堪能させていただけて、幸せなひとときでした。ありがとうございました。お能の舞台という厳かな空間の雰囲気観る側も、気を引き締めて、という感じになりました。マリアセレンさんをはじめ、出演者の皆様の生のお声の響きが、なんとも心地良かったです。その上、お能の国宝級の方々の芸も拝見することができまして、贅沢な舞台でした。このコロナ禍ではございますが、やはり同じ空間でしか感じるこのできないその場の感動や高揚感の素晴らしさを再認識いたしました。また今後の舞台を心待ちにしておりますね。スタッフの皆さま、ご出演の方々、ありがとうございました。

女性

17.Pie Jesuからはじまり、Jupiter で終わるまで、素敵な曲と舞で堪能しました! 「神の湖」のシーンも甦りました! 指揮者、奏者も和装で凝ってましたね。また聴きに行きたいです!

60代 男性

18.初めて能という事で、大迫力な鼓と竜笛素晴らしかったです。私はあつという間でしたが、途中のセリフは内容はよくわかりましたがオペラを知らない人にはわかりにくかったかもしれません。あと、パンフレットで、能の仕草例えば腕を上げる意味とかを解説していただくとより、舞の意味が分かったかも? あと、歌詞にイタリア語原文を併記していただくと、何処を歌っているかわかり、楽しいですね。全体的には全員和装は斬新で素晴らしい舞台だと思いますね。頑張ってくださいねー。

60代 男性

19.一生に一度見れるかどうかの素晴らしい舞台。素晴らしい。

70代 女性

20.海外公演絶対やってほしい！これこそ本当のコラボ！

60代 男性

21.全てが新しく、とても興味深かったです！音楽があるからこそ生まれる「静」と、能特有の「静」とが合わさって、拍手をするのも憚られるほどの緊張感が堪りませんでした！あの能楽堂ごと異世界に誘われた感じで、友人とも三途の川の畔まで行ったよね、と話していました。語り出したら止まらなくなってしまいそうなほど楽しかったです。次回も楽しみにしております！

20代 女性

22.本当に新感覚な芸術で、なんだか別世界にいるような時間でした。想像つかないからこそワクワクして見ていました。なんというか、全てが凄かったです。ありがとうございました！

20代 女性

23.厳かな能楽堂の雰囲気と声が一体となって神がかっていて不思議と涙がでてきました。

60代 女性

24.能楽堂に来たのが初めてでこんな素晴らしい所で公演できるというのはありえないことだと思いました。厳格でありでも自由でもあり胸を打つという衝撃はまさに初めての経験でした。

50代 女性

25.異世界にワープしたみたいで、大変面白かったです。能楽も勉強になりました。また、よろしく願いいたします。

60代 男性

26.能舞台の凛々しさは、ステージとはまた別物ですね。最後の二曲による仕上げのカタルシス、最高でした！これからも追いかけます！

60代 男性

27.やはり Live は良いですね。久しぶりで楽しかったです。マリアセレンはじめ劇団の皆様の新しい一面を見ることができ、良かったです。一緒に行った友人もとても喜んでいました。本当に音華の祈りですね。早く通常公演ができるようになる事を祈っています。

60代 女性

28.大変素晴らしく感動致しました。能の事はよく分かりませんが 日本の伝統芸能 笛や太鼓の音も心地よくオペラとのコラボは堅苦しく無く見やすかったです。お席が前から三列目 こんな間近で 生のマリアセレンさんのお顔と歌を聞く事が出来て夢の様でした。ソプラノからテナー どこからそのパワーある声が出てくるのか？ 素晴らしくて素晴らしくて！そして近くから バイオリンなどの弦楽器の音も綺麗でした。欲を言うならマリアセレンさんの生の人柄と笑顔も見てみたかったです。お化粧濃いゴージャスなマリアセレンさんの姿も

見てみたいです。次回も また必ず公演行かせてもらいたいです。本当にありがとうございました。

女性

29.あの厳かな雰囲気の中、違和感なく歌声が溶け込み、今まで体験した事ない独特の空間を楽しませていただきました。映像がない分、一挙手一投足を集中して見ることの魅力をあらためて感じました。素晴らしい体験をありがとうございました！

40代 男性

30.能とオペラのマリアージュ、コロナ禍の鎮魂を祈っているみたいで心に沁みました。

40代 女性

31.能楽堂にはじめて伺いましたが、客席と舞台がすごく近くてびっくりしました！この公演を外国でやったらすごい評判になりそうですね！！

50代 女性

32.演奏会全体がお能が持つ緊張感に統一されていたのがとても良かったです。舞台面に上がっている方すべてがお能の訓練をしっかりされた賜物だと思います。もし、オケと指揮が舞台面に上がっていたら緊張感が崩れたかもしれないと思いました。そういう意味で、新たな発見がありました。

男性

33.楽しめた舞台でした。連れに、オペラ好きの方をご一緒してもらいましたが、お能とオペラの融合はおもしろかったという感想でした。また、音も良かったですね。オケが入らなくても十分な音量とアンサンブルがオペラ声のハーモニーも含めて良かったです。ありがとうございました。ひとつだけ、気になったのは、マリアセレンの男声は、少し Key が高かったでしょうか。半音か一音下げた方が減り張りがついたかもと、勝手な印象を持ちましたが～(笑)失礼しました。また、よろしく願いいたします。

60代 男性

34.とっても素敵でした！能とオペラの共演なんて、凄すぎです。是非海外で公演して欲しいですね。

お二人のデュオまた見たいです。かっこよすぎ！

50代 女性

35.お能の舞台でクラシックが流れているし、主役の方が女性とも男性ともつかない不思議な空気を醸し出して、宇宙に投げ出された様な不思議な感覚で、最後まで実体が掴めないような不思議な空間でした。 外国人がすごく気に入りそうな舞台でした。 歌劇団オリジナルのオペラがあって凄い。どちらのオペラの曲も素敵でした。皆さん能の動きをしながら歌っていて凄いですね。歌っていない時には袴の中に手を入れておくのだという事を初めて知りました。主役の方の音域がすごく広くてびっくりしました。凄いですね。能の舞がぐっと空気を引き締めていて、圧巻でした。久々の生の舞台で興奮しました。

70代 女性

36.大変な稽古をしたことでしょう。素晴らしい舞台だった。今度能楽の序破急について教えて。居合道も序破

急だよ。

70代 男性

37.今まで体感したことないような舞台上、終始ワクワクしながら観ていました。狂言迫力あって格好良かったですし、舞台全てが凄かったです。能楽の独特なピシッとした厳かな感じに惹かれました。わたしも能楽にハマってしまいそうです！

20代 女性 学生

38.通路側の席だったので今度こそコインを狙っていたのだけど…見終わって（コインがなかったことに）納得。シレーナの舞が圧巻だった。アイリッシュフルートが見るたびに違う楽器を使っていて、不思議で目が離せなかった。

40代 男性

39.能楽堂でのオペラ、素晴らしいコラボレーションで本当に感動しました。

50代 男性

40.能楽の空間にオペラを放り込むという荒技。二つの異文化を乱暴に融合させるなどありなのか？ありだ！終わった後の自問自答です。途中本場欧州人になりきって見ました。きっと彼らも異なる視点、異質の文化に触発されるのではと思いました。文化の日にふさわしい作品でした。

50代 男性

41.ミス・ジャパン愛知大会でマリアセレン様のパフォーマンスに魅せられ、今回東京でのコンサートに行けました事大変嬉しく思っています。最初の時のヘッドドレスをつけ豪華な衣装も素敵でしたが、今回の能を意識したメイクでの和装姿も大変素敵でした。しかも何度も場面が変わる度にお着替えもしてくださり、歌声だけでなく目でも楽しませて頂きました。能楽会館という場所である楽曲、マリアセレン様が本当に神々しくて魂が震える歌声に本当に感動し、心が洗われたような気持ちで名古屋まで帰宅しました。来年の公演が今から楽しみです。

女性

42.久しぶりのLIVEで、とても幸せで豊かな時間を過ごせました。やっぱりLIVEは良いですね。

マリアセレンや団員の新たな一面を見せて頂きました。お能との融合？もモンドらしいチャレンジだと思います。これからも楽しみにしています。

女性

43.僕自身は音楽的な素養はなく、参考になるような声を出せるかどうかはわかりません。でも遠く広島から行き、モンドパラッレロ歌劇団の公演を味わえて本当に良かったです。パンフレットなどに目を通しましたが、どちらかというとなげの気持ちで見て聞いたような感じです。セレンさんはじめ、皆さんの歌声、よく伝わってきました。また今回の席（一番前）の近くに合奏団がおられそれも良かったです。やはり音楽で生演奏というのは大変重要な意味があるんだなと感じました。そもそも僕がセレンさんを知ったのは偶然でした。2018年の3月頃、ふとしたことでYouTubeで聞いたのです。そのとき、圧倒的な歌唱力に驚くとともに、

「この人の人生ってどういうものだったのだろう。おそらくやいろいろな苦勞があったに違いない。僕自身も少々の苦難に挫けることなく、強く生きていかななくてはいけない」というふう感じたのです。それで是非、生で聞いてみたくなり、6月でしたか、上京したのです。その後、何度も東京で見、聞きましたが、やはり独特のオーラがあるように感じます。そして始まる時、なんとも言えない期待感が湧き上がっています。僕は音楽的なことはよくわかりません。また日本語で歌えば歌詞の意味がわかり味深いものがあるけど、意味がわからない外国語の歌であってもなぜか心が震えるような時もあります。イタリアンポップスみたいなもの（サンレモ音楽祭に出ているような歌。アルディラとか、夢見る思いとか、頬にかかる涙、花咲く丘に涙して等）も好きですが、それらの意味はほとんどわかりません。でも、なぜか明るくなったり、楽しくなったり、悲しくなったり、音楽の力は不思議だなと思います。モンドパラッレロ、マリアセレンさんの歌にも不思議な感動をいただいています。さて今回、今までのホールより小規模でしたが、一番前の席だったと言うこともあり、より楽しめました。また和のテイストが今までより強く打ち出されていましたが、それも素敵だなと思いました。それにしても長身のセレンさんは舞台でも見栄えがするというか、存在感がありますね。何を書いているのか、とりとめがない文章になってしまいましたが、とにかく行って良かったと思っています。来年10月までは長いけれど、その頃にはコロナも収束し、また素晴らしいものを見せていただけたらと思っています。

男性

44.初めてマリアセレン氏を知ったのは、新宿2丁目の色々なお店を紹介する番組です。たまたま通りかかったマリアセレン氏を、レポーターが視聴者に紹介していらっしゃいました。その後気になって、YouTubeでその歌唱を聴き、1度生で聴きたいなと思っておりました。能は学生時代に能楽のサークルに入っていた関係で、学生時代は仕舞と謡の実践と能の鑑賞、大学を卒業してからは、年に数回の鑑賞と謡会への参加という形で関わっておりました。今回の「音華の祈り」については、一言で言えば、芸能の原点を見たような気がいたしました。面白かった。感動した。そういえば簡単なのですが、それ以上のものがありました。私は芸術という言葉が好きではないので、あえて芸能と言わせていただきますが、能もその発生期においては、今回声楽を取り入れたように、様々な芸能を取り込んで今日の形になったのだと思います。どうしても能の側からの見方になってしまうのですが、西洋の楽器だけではなく、囃子方とマリア氏のコーボも聞いてみたかったと思います。単に物珍しさだけでは、今日までの活動はなかつたらうと思います。そこにはマリア氏の不断の努力があったればこそその今日があるのだと思います。和の中の洋、洋の中の和、渾然とした美しさがありました。帰りにロビーで、おそらく熱心なファンの方なのでしょう、「今回皆さん合宿までなされたそうよ。」という言葉聞き、さもありなと思いました。間狂言語りをされた役者の方。声楽の方。作法もしっかりされて、感心いたしました。うまくまとまりませんが、観に行つた甲斐のある会でした。楽しませていただいて、本当にありがとうございました。

男性

45.マリアさんを知ったのは些細なことがきっかけです。もともと中低音の楽器が好きな自分の耳に彼女のテノールがびたりと重なる印象が消えなかつたことが昨日の公演を観に伺ったいちばんの理由です。男声と女声を使い分ける可憐さに最初はただ聞き惚れるばかりでした。私は大人から剣道を始めたのですが面をつけると男でも女でもなく
ただひとりの剣道家として幾人もの仲間と鎬を削る境地へ瞬時に入り込まなければなりません。昨日初めてお会いした目の前で歌うマリアさんは間違いなく男であり女であり行ったり来たりその奔放さから彼女独自の芸術を産み出そうとなさっているように感じました。時に男であり女である舞台上のマリアさん。面をつければ男

でも女でもなくなる自分。そして面をつけているのにひとつの性からくる感情を表現できる栗谷先生。色々な感激に圧される不思議な体験をさせて頂きましたことを心より感謝申し上げます。

女性

46.マリアセレンさんを知ったきっかけは最近見た You Tube でした。そこからコンサート等を検索したところ、偶然にも 11 月に会えることが分かりすぐに予約を入れさせていただき、昨日、初めて拝聴させて頂きました。オペラ初心者の方は、ほとんどが知らない曲ではありましたが、一曲目から涙が出てきて、正に心が洗われたようでした。マリアセレンさん目的で行ったのですが、他の皆さんの歌声を聞いて、考えがかわりました。皆さんの歌声があるからこそ、舞台が盛り上がるのだと実感致しました。皆さんの歌声がマリアセレンさんの歌声とともに私の心に響きました。ぜひ次回も見に行くつもりです。コロナ禍で難しいとは思いますが、たくさん開催して下さい。何度もたくさん、皆さんの歌を生で聞きたいです。

女性

47.文化の日に相応しい素晴らしい時間を過ごす事ができました、ありがとうございました。

マリアセレンさんを You Tube で拝見して今回お伺いしました。当たり前ですが生で歌を拝聴してより素晴らしさを覚えました。カッチーニの Ave Maria は大好きな曲でしたので歓喜致しました。日頃能や狂言、日舞というものに触れていないので若干緊張しましたが凜とした空気に心洗われるようでした。

女性

48.最高の舞台を披露して頂き、マリアセレン様、出演者様、スタッフ様に心よりお礼申し上げます。私がマリアセレン様の舞台を拝見させて頂くのは「神の湖」に続いて2回目です。セイレーンの歌声に魅惑された船人のようにマリアセレン様に吸い寄せられた一人です(笑) オペラ・能楽の鑑賞は初めてなので、私の感想は的外れかも知れませんが、感じたことを書かせていただきます。能楽堂での公演、内容も能楽に沿ったものでしたので、最後にスタンディングオベーションをしたくてもはばかりました。この感動とお礼の気持ちを表現するにはどうすれば良かったでしょうか?また歌以外にマリアセレン様が言葉を発することがなく、アンコールを期待していましたし、舞台の構造上、カーテンコールも出来ないので残念に思います。しかし間近に歌声をお聴きすることが出来まして、震えが止まらず第一声から涙を抑えました。舞台上に大掛かりな背景が無くとも、歌声でその物語の奥行きを感じられ、無限の舞台が繰り広げられることが分かりました。マリアセレン様の喋るように歌われ、無理なく発音しておられること(当たり前でしょうか?)一時間半の舞台を遣り終えた時も息を切らさず、今まで計り知れない努力を重ねてきたことが伺えます。公演後、入り口でお見送りするマリアセレン様に感動とお礼をお伝えたかったのですが舞い上がってしまい、言葉にすると陳腐で情けなくなりました…

帰宅後、興奮冷めやらず、すぐさまマリアセレン様の歌声が聴きたくて何度も動画を再生しました。貪るという言葉が当てはまる位、禁断症状が表れた麻薬中毒者のように(笑) こんな状況の時に最高の舞台を開催して下さいまして、ありがとうございます。

女性

49.能は観世さんが天現寺からの先輩ですが、既に世代交代期と仄聞します。中々地道な進路を選択・推進とします。マリアセレンの起用と喜多流・栗谷明生氏との連携は流石と思いました。歌舞伎の表現でオヤマ(女形)を起用した展開は声量と迫力への着目を感じます。未だ始動期で評価は困難ですが、芸術として、又楽芸、新

基軸として国内外を視座に進出を予見しました。一見の感想は雑薄ですが精進と工夫の連鎖と仄聞します。

60代 男性

50.新たな世界をありがとうございました。前回は熱く華やかな舞台でした。今回は厳粛な空気の中、内から湧き出るエネルギーを感じました。弦楽の方も歌手もよく観えるとてもよいお席でした！あっという間に終わってしまった～早く次の舞台をみたい！楽しみにしています。

50代 女性

51.素敵な舞台でした。去年見た時もいろいろ思うところがあったけど、今回はそれ以上だったかな。

最後は泣きながら見たよ。出演者のみなさんの想いが、押し寄せてくる気がしました。その押し寄せるものは、なんというか不安げではあるものの少し光が見えてきた、そんな風を感じてやっぱり、来てよかったな、と思いました。

それから、能は初めてだったけど、面をつけて、ほとんど手さばきだけで、表現する演技に驚きました。伝わるんだね。たくみちゃんの声も、いつものたくみちゃんじゃないみたいで驚いた！あともう一つきのうの舞台で素敵だったのが、着物！たくみちゃんのきものも本当に綺麗だった。後ろの緑の松と組み合わせると絵画みたいだったなーもう少し長く見ていたかったのが、残念。こういう時期だから、コンパクトだったんだよね。

昨日は帰りに浸りたくて、マリアセレンさんのアルバムを itunes で購入し、聴きながら帰りました（笑）しばらく毎日聴いて浸ろうとおもいます。なかなかうまく伝えられないけど今のわたしには、多分、観るべくして、観れた舞台なのかと。感じたことを大事にしてこれからも自分の日常を頑張ります！素敵な舞台をありがとうございました！

次回を心から楽しみにしています。

40代 女性

52.マリアセレンさんの昨日の公演は 大変素晴らしく感動致しました。能の事はよく分かりませんが 日本の伝統芸能 笛や太鼓の音も心地よく オペラとのコラボは堅苦しく無く見やすかったです。お席が前から三列目 こんな間近で 生のマリアセレンさんのお顔と歌を聞く事が出来て夢の様でした。ソプラノからテナー どこからそのパワーある声が出てくるのか？ 素晴らしくて素晴らしくて！そして近くからバイオリンなどの弦楽器の音も綺麗でした。欲を言うなら マリアセレンさんの生の人柄と笑顔も見てみたかったです。お化粧濃いゴージャスなマリアセレンさんの姿も見てみたいです。次回も また必ず公演行かせてもらいたいです。本当にありがとうございました。

女性

53.大変珍しい公演と思いますが、あの近さでオペラ歌手の美声と生演奏と舞を味わせて頂き、フレンチと懐石料理を交互に一皿ずつ頂いたような、身に余る贅沢を堪能しました。能は数十本、オペラは観たことがないのですが、オペラも観てみたくなりました。素人でも知っているような曲もあり、嬉しかったです。目頭が熱くなるのを感じながら、舞台芸術にどれほど飢え、乾いていたかも同時に感じて、このような状況下で開催決行して下さって、感謝に耐えません。ありがとうございました。

女性

54.モンドパラレロ歌劇団「能楽堂コラボ 音華の祈り」。鑑賞させて頂きました。このコロナ禍での厳しい

状況での大成功、本当に本当におめでとうございます。そして、演者の皆様、合奏団の皆様、植村監督、粟谷明生先生、関係者の皆さま方、誠にお疲れさまでございました。今回は、ある意味、大変驚きました。その完成度に、です。語弊があるとは思いますが、敢えて賞賛の意味でそう言わせて頂きます。驚きました。ひとことで申しますと、声楽と能楽のブレンド度合いが極めて絶妙かつ自然であることと、演者の皆様の舞や謡の完成度の高さ、です。今回の舞台が、世界で初めての試みであることを知りつつ、しかしながら、既に存在している芸能であるかの如く錯覚させられました。これは誇張やおべんちゃらではありません。私が嘘を申す者ではないことはご存じかと思えます。まず、絶妙なブレンド、についてですが、これは、皆さんが、能楽の本質というものを真摯に学び、ご理解していらっしゃるからこそできるものであって、どこの劇団でもできる、というレベルではないものです。つまり、能・狂言の所作・流れの、どの部分をまるごと採用し、どの部分を修正し、そして修正の際にどこまで残すか、という選択が、全ての場面で適切で、自然でありました。また、声楽と能・狂言のブレンドの際において、違うものを、なんとか、まあくっつけてみました、と見る者に感じさせる「つぎはぎ」感というものはありませんでした。私が過去に和洋折衷の舞台を見た際には、たいいていこの「つぎはぎ」感を感じました。ところが、皆様の舞台では、これが初の試みであるとは思えないほど、違和感を感じさせず、素晴らしかったです。また、出演者の皆様におかれては、声楽の世界ではプロの方ばかりですので、もちろん歌は安心の心地よさだったのですが、今回、驚きましたのは、皆様の所作、です。能楽の所作を全ての演者の方々が、同じ水準で身につけていらっしゃることに、大変美しさを感じました。粟谷先生のご尽力は勿論のことかと思えますが、なにより植村監督の相当の厳しいご指導の姿が目に見えます。演者の皆様、お察し申し上げます。その成果として、この点でも、初めての試みとは思えない水準だったと、申し上げたいと思えます。これに追従できるカンパニーは、現在ほかに存在しません。世界で唯一無二だと思います。どうか、自信を持ってこの「芸」を深め、極めていって頂きたい、と思えます。また、明生先生の新作の舞「華の夢」につきましても、引き込まれるような美しさや華やかさで、時が過ぎるのを忘れそうになりました。明生先生の女性の舞というのは、かねてから素晴らしいと思っておりました。明生先生が、以前「葵の上」でお演じになった六条御息所は忘れられません。今回のシレーナの舞も、幕が上がって登場した瞬間から、清らかな若く美しい女性としか見えませんでした。あの明生先生が、です（失礼しました、言い過ぎました）。これこそが天下一品の役者なのだ、と感服いたしました。ときに、先生も Facebook でおっしゃっておられましたが、揺れる瓔珞は、大変よかったです。白く清らかな装束と相まって、神聖な神に近い存在であることを、揺られて耀きながら、訴え続けていました。そして、能楽堂でのイベント、という観点での感想を申し上げますと、声の通りがとても心地よいな、と思えました。私は正面にいましたが、マリアセレンさんの歌声は橋懸りからでもクリアに聞こえて参りましたし、後ろ向きで鏡板に向かって歌っていても、クリアに聞こえました。モンパラの歌声は能楽堂に合っている、と思えました。あと、エンディングでマリアさんが正面と脇正面にそれぞれ歌って下さった気遣いは、観客としては嬉しいです。

また、狂言パートですが、「古文風味の現代語」というのが、とてもよかったです。今後の狂言風舞台の将来性を感じさせました。イントネーションで狂言風をキープしたのは大成功だと思います。

あと、舞台進行のスピード感がよかったです。能楽の静寂さ、静謐さ、というのも尊重しておられましたが、声楽の明るさ、大らかさと、古典芸能とのブレンドに、将来性を感じました。能はどうしても眠気を誘うのですが、それをスピード感で刷新する、という考え方は、今後の能楽系イベントではあり、なのではないかと思えました。

次に、劇団の方向性という点でコメントしますと、今回の能楽堂イベントで、モンドパラレッコ歌劇団は、歌劇とは別の、もうひとつの境地を切り拓いた、と思えます。歌劇は、どうしてもオペラがベースで、思想や所作に能楽テイストを加味する、というスタンスになりますよね。それ自体も歌劇界に新風を吹き込んでいるわ

けですが、この能楽堂イベントは、歌劇とは、ある意味で主客の逆転があり、こちらは、日本の伝統芸能に新風を吹かせるポテンシャルがあります。モンドパラレッコ歌劇団におかれては、どうか、この二つを車の両輪として、前進して行って頂けると嬉しいな、と思います。

ちなみに、今回のパンフレットが、竜胆の透かして飾られていたことに、おや、割桔梗が見当たらない！と思ったのですが、パンフレットに説明文がありそれを読んで、そのメッセージを受け取ることができました。コロナ禍を克服し人類が勝利することを祈るパワーが、このパンフレット、そして舞台に込められていたと思います。そして、同時に、モンドパラレッコ歌劇団が間もなく世界から受ける賞賛、つまり勝利の予祝であると感じました。私には皆さんのこれからの飛躍が見えます。皆さんご自身におかれても、それを信じて疑わず、どうか誇りを持って、弛まず精進なさってください。皆さんは、もうこのジャンルの第一人者です。

長くなりましたが、改めて皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。今後のご活躍を楽しみにしております。

50代 男性